

運輸安全委員会は、平成29年6月29日(木)、
船舶事故等調査報告書51件(事故49件、インシデント2件)、及び軽微事案の船舶事故等
調査報告書44件(事故37件、インシデント7件)を、ホームページで公表しました。

51件のうち、事故49件の内訳は、船舶間衝突16件、乗組員等の死傷等11件、乗揚9件、防波堤等
への衝突7件、火災4件、転覆2件、またインシデント2件は、運航不能(機関故障)と安全阻害各1件です。

このうち重大【東京】事案1件[御前崎港を航行中の外国貨物船が浅所に乗り揚げた事故]の概要は、別紙
のとおりです。

公表された事故調査報告書を基に、当協会の責任で編集しましたので、ご参考にしてください。

なお、詳細は、運輸安全委員会のホームページでご確認願います。

(http://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2017/MA2017-6-1_2016tk0007.pdf)

また、軽微事案44件のうち、事故37件の内訳は、船舶間衝突14件、乗揚11件、防波堤等への衝突
3件、死傷等3件、浸水3件、転覆2件、施設等損傷1件であり、インシデント7件の内訳は、運航不能4
件(絡網等2件、機関故障1件、燃料供給不能1件)、座洲2件、運航阻害1件です。

運輸安全委員会
事故調査報告書

センチュリー シヤイン
貨物船 CENTURY SHINE

乗揚事故

事故概要 約4,062トンの珪砂(けいさ)を積載したパナマ船籍の貨物船(4,403トン, 15人乗組)が静岡県御前崎港を南南西進中, 浅所に乗り揚げた。

発生日時 平成28年5月10日(火) 15:30ごろ

発生場所 静岡県御前崎港
御前崎港防波堤C灯台から350° 240m付近

死傷者 なし

損傷 船首部船底外板に擦過傷

<原因>
御前崎港に入航するにあたり, 本件浅所を知らなかったため, 防波堤C灯台寄りを航行し, 本件浅所に乗り揚げた。

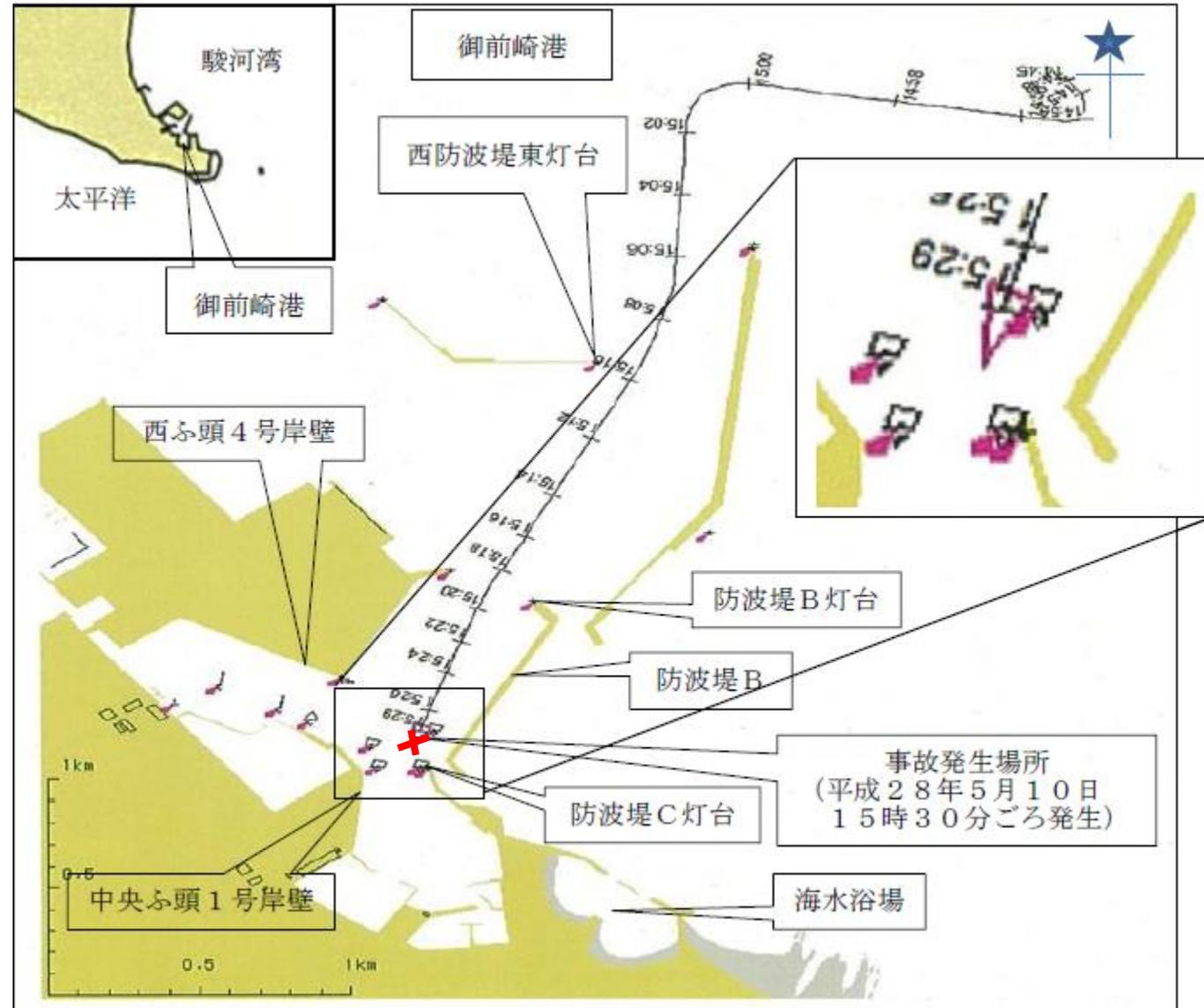
<要因>
船長(日本人)は事前に海図等で水路調査を行ったが, 本件浅所に関する情報はなかった。

静岡県御前崎港管理事務所が長期にわたり水深調査を行っていなかったことから, 本件浅所を把握していなかった。

管理事務所は, 平成12年までに水深に顕著な変化が認められなかったこと, 同港内に流入する大きな河川がなかったこと等から, 測深の必要はないと考えていた。

御前崎港が地形的に漂砂が堆積する傾向にあり, また, 本件水路の南側にある海水浴場で漂砂が堆積する状況下, 管理事務所が御前崎港内の水深変化を想定していなかった。

本件浅所付近の水深は, 海図図載の水深と比べて約1.5m減少していた。



※本事故調査報告書はH29.6.29に公表されました。詳細は, 運輸安全委員会のHPでご確認ください。